

他の検査を実施中に血液検査を完了

待ち時間ゼロで健診当日の初回面談を100%実施



熊本県熊本市

医療法人 桜十字
メディメッセ桜十字 予防医療センター健診受診者数: 22,242人
特定保健指導対象者数: 4,593人
初回面談実施人数: 4,574人初回面談実施率
99.6%

※令和5年度に実施した協会けんぽの生活習慣病予防健診・事業者健診に基づく健診機関における実績値

お話を伺った方

保健看護部 部長・保健師 辻本 直美さん (左)
保健師 松村 ゆかりさん (右)

point

01 時間に血液検査を完了し、初回面談を当日実施

腹囲・BMIが基準値を超える人はルートを分けて、先に採血を行ってもらいます。その他の検査を進めている間に、他の検査を受けてもらうことによって、健診後にほとんど待ち時間なく特定保健指導を実施できます。

後日実施のみのところから、当日初回面談を開始して3年後に初回面談の実施率100%を達成し、概ね継続できています。難色を示す方はほぼいなくなり、みなさん健診項目の1つのようにセットで受けてくださいます。

後日実施でも実施率は約50%

対象者本人と会社の担当者には、あきらめない精神で、断られてもねばり強く電話します。本人ではダメでも、会社に依頼すると来てくれるというケースも多かったです。



当日実施を実現するために、それぞれのセクションでどうすればできるかを考えもらい、みんなでシステムを築き上げました。



健診当日の流れと各担当者の役割

身長・体重・腹囲 (検査補助)

腹囲・BMIが基準値を超える方のファイルに目印となる「レッドカード」を挿入。

採血・問診 (保健師・看護師)

治療中でないことを確認し、候補者の血液は早く結果を出してもらうよう依頼。この段階で候補者には健診終了後、検査結果を聞いていくように伝える。※指導という言葉は使わないようにする。

血液検査 (検査技師)

特定保健指導の階層化に必要な項目について、40分以内に検査完了する。

健診終了 (受付)

対象者を面談室へ誘導。

初回面談 (保健師・管理栄養士)

検査結果を説明し、特定保健指導の同意を得る。



▲ 広く明るい雰囲気の面談室。全8室ある。

特定保健指導推進の
きっかけ・背景

制度開始の2008年から特定保健指導を実施しています。開始当時は、健診受診から日が経つと連絡をすると受け取れないことが多かったです。また、受けたくない方に限って数値がすごく悪く、放っておけない気持ちがありました。利用者から「健診当日なら受けてもいい」という声があったことを踏まえ、2011年から健診当日の初回面談を始めました。

point

02 初回面談で担当者の名前を覚えてもらう

継続支援のためには、まず初回面談で担当者の名前を覚えてもらうことが大切です。その場で対象者の携帯電話に、担当者の名前と電話番号を登録してもらいます。そして、担当者も、対象者のバックグラウンドを把握し、名前を見ただけで思い出せるようにしておきます。

point

03 情熱を持って、家族と思って接する

以前勤めていた急性期医療の現場では、病気が悪化して苦しむ方や、健診結果が悪くても対処しなかったことに後悔する方を多く見てきました。特定保健指導を受けて生活習慣を改善することは、必ず対象者のメリットになるので、自信をもっておすすめするようにしています。対象者を家族だと思って接することによって、心を開いてくれやすくなると感じています。

取組の目標・計画を対象者自身に書き込んでもらうようにすると、自分事として受け止めてもらいやすくなります。



「対象者が自分のお父さん、お母さんだったらどうするか?」という視点を持つて取り組んでいます。



point

04 保健師の数を増やし、組織でレベルアップ

はじめは、保健師1人から始まりました。特定保健指導の増収に伴って、経営層に保健師を増やしてもらうようお願いし、最終的には、保健師40名まで増員することができました。1人でやるよりも事例を積み上げができるため、相談や議論が活性化し、保健師自身も成長することができました。経営層も、健診だけでなく、特定保健指導などの付随するフォローアップに伸びしがあると考え、理解を示してくれました。

センター内のトレーニングルーム。ここで特定保健指導の運動指導を行うことも。



＼健診機関担当者からひとこと／

✓ いきなり完璧にはいかないかもしれないけれど、やろうという意識さえあれば、保健師1人からでも特定保健指導をやる価値があると思います。

✓ 対象者は環境も考え方も検査数値も異なります。多様化する対象者に対応し、改善率を上げていくことが今後の課題です。

✓ 特定保健指導は事務職でもカバーできる部分があり、記録や請求などを手伝ってもらうことができます。

メディメッセ桜十字 予防医療センター (旧: 桜十字病院 健診センター)

熊本県熊本市中央区平成3丁目23-30
<https://medimesse-kumamoto.jp/>

設立: 2005年7月

事業内容: 健康診断・予防接種、フォローアップ(保健指導・受診勧奨)、産業保健(産業医訪問・各種面談・安全委員会・ストレスチェック等)、精密検査・治療(※併設クリニックにて)、地域保健(健康教室・校区サロンイベント等)

